

1. 事業の概要等

事務事業名	東日本大震災伝承活動支援事業		
政策	過去に学びみんなが命を守れるまち/防災意識の向上	担当課	総務課
施策①	迅速かつ確実な避難行動を行える防災意識の醸成	電話番号	0193-27-8411
施策②	東日本大震災の検証と風化防止に向けた取組	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
東日本大震災の記憶を風化させず、語り部の高齢化や後継者不足、被災地への訪問者の減少などの課題に対応するため「いのちをつなぐ未来館」の指定管理者が行う語り部の育成や防災学習プログラムの提供をはじめとした震災伝承活動事業に補助金を交付するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
年月を経るごとに震災の記憶や教訓の風化が進み、今後起こり得る大災害に備えるための防災意識が薄れている。	
目的	
釜石市防災市民憲章の理念が継承され、市民の防災意識が向上し、生活から身を守る知恵（災害文化）が市民生活の中に深く浸透し定着する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
補助金の交付（各年度：1,000,000円） 東日本大震災の記憶と教訓を継承する取組を支援するため、『いのちをつなぐ未来館』の指定管理者へ補助金を交付するもの。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
東日本大震災の記憶の風化防止や語り部の高齢化・後継者不足、被災地訪問者の減少といった課題に対応するため、「いのちをつなぐ未来館」の指定管理者が行う語り部の育成や防災学習プログラムの提供等の震災伝承活動に対し、補助金を交付し、その取組の推進に努められたい。			